加速アクションプラン個票

①実施項目	14	入札制度検討事業	②No.17	実施状況 検討中
③加速プラン事業名	電子入札導入事業			
④所管課	財務課			
⑤現状と課題	【現状】公共事業の入札について、関心が高い現在、従来より競争性・透明性・公正性の高い入札制度に改革するため入札方式体系の再編が必要である。 【課題】公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）により、発注者が取組むべき適正化方針が定められており、更には職員の研修が求められていることから、一般競争入札、最低制限価格制度、低入札価格調査制度、簡易型総合評価方式等について、再度専門性のある研修を行いながら、各制度の調査検討が必要である。 　また、電子入札導入にあたっては、現在検討している団体（H18から）が岩手県（導入済み）、盛岡市及び滝沢村なので、システムにかかるコストが割高であり、より一層の他市町村の参加が望まれる。			
⑥取組み内容	①平成21年度内の電子入札制度の導入 現在、電子入札の導入検討の状況については、岩手県内の市町村においては盛岡市と滝沢村が協働で協議しているに留まっている。 盛岡広域圏における企業の利便性を図る上でも、岩手県、盛岡市と足並みをそろえた電子入札制度の導入が必要である。			

⑦年度計画

平成19年度から平成21年度までは集中取組期間です。

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	電子入札制度導入検討 →		電子入札制度実施	制度の運用	制度の運用	制度の運用
計画値 単位（%）			100			
実績値 単位（%）						

⑧目標	【計画値算式】 電子入札システムの構築 平成21年度にシステムの導入を目標としている為、平成22年度以降は同システムの運用となる。
⑨効果	電子入札システムの導入と同時に、入札方式体系の再編をすることにより、より競争性・透明性・公正性の高い入札制度に改革できる。

⑩達成度

H19	H20	H21	H22	H23	H24
岩手県・盛岡市との協議実施					

⑪国集中改革プラン報告項目別全体計画（対H16）※当該加速プランが含まれる項目について表記

【項目名】

	H17	H18	H19	H20	H21	合計
計画値						0
実績値						0
差額	0	0	0	0	0	0

単位：千円